

意見交換のための論点メモ

【気運醸成関連】

◎ボランティア活動の気運を盛り上げていくためには、より多くの企業や団体の御理解・御協力を得ることが必要。協力をいただける企業・団体を広く募っていったらどうか。また、そのためには、どのようにしていったらよいか。

◎前回いくつか意見（会員への分科会の取組や東京ボランティア・市民活動センターの事業の紹介の他、ニュースレターを使ったイベント紹介等）が出ていたが、普及啓発など各団体独自で取り組めるものとして、どのようなものが考えられるか。

◎東京 2020 大会の開催を控え、大会関連のボランティア活動に関心を寄せる方が増えると想定される。こうした方々に大会関連以外のボランティア活動に関心をもちてもらうためにはどのような取組が効果的か。

◎東京には企業の他大学等の教育機関も多く集積している。前回の分科会でも、学生を巻き込むことが重要だとの意見が出されている。学生の参加を増やすためにはどのようにしたらよいか。

○ボランティア活動の気運を盛り上げていくためには、東京で活動している企業同士や NPO との交流が重要ではないか。企業や NPO が交流していくためにはどうしたらよいか。

【メニュー・事例収集】

◎多くの方がボランティア活動に関心を持てるようにするため、様々な分野の活動事例を紹介するウェブサイトの構築を現在検討している。どのような事例を収集したら効果的か、またそうした情報をどのように収集したらよいか。

◎時間がなくてボランティア活動に参加できないという人が多いことから、ちょいボラ（身近で気軽に活動できるボランティア）の普及が必要。ちょいボラのメニューとしてどのような活動が考えられるか。また、そうした事例をどのように収集したらよいか。さらに、ちょいボラを普及させる方法として効果的なものは何か。

○東京に集積する企業の取組を後押しするために、プロボノのような企業社員が行うボランティア活動の紹介が必要ではないか。事例を集めるためにはどのような取組が必要か。

【その他】

○前回、マッチングやコーディネートが重要である旨の意見が複数出されている。効果的にマッチングやコーディネートが行われるようにするためには、どのような取組が考えられるか。

○皆様にご協力いただいた社会貢献大賞については、来年度以降も継続を予定。より多くの方に注目される等表彰の効果を高めていくためには、どのような改善が必要か。

